

2015年企画展示

ユーモアと個性にあふれた隣人の絵心

—朝鮮時代の絵画をたどって—

2015年

2月4日(水)～4月26日(日)

入館料 一般：400円、中高生：200円
開館時間 12:00～17:00(休館日 月・火)

高麗博物館は韓国の知識産業社が1973年に出版した朝鮮絵画100枚(複製画集)を所蔵しています。朝鮮戦争後の韓国がまだ十分に復興していない時代、国の内外に優れた絵画文化を紹介することによって、国民の自信を回復させようと出版されたものです。

最初の出版は、出来の悪さをマスコミに叩かれ、さんざんでしたが、発奮した会社は、ドイツからカメラや印刷機を購入して一からやり直しました。韓国で初めての本格的なカラー印刷だったそうです。その画集を用いた展示会を計画しました。

ヘイトスピーチ、嫌韓の嵐の中で、鄭敏(チョンソン)や金弘道(キムホンド)をはじめとする優れた画家の作品に触れることで冷静さを取り戻すことができたらと、心から願っています。

他人のあら探しではなく、その人が持っている良さを発見すること、ここから相互の信頼は回復され、平和は構築されます。朝鮮絵画が持っている良さ、魅力とは何でしょうか。それを捜しにご来館ください。

予告：会期中に講演会を企画します。

詳細を後日ホームページに掲載します。



萬瀑洞図 鄭敏(チョンソン)作



相撲図 金弘道(キムホンド)作



東京都新宿区大久保1-12-1第2韓国広場ビル
電話 03-5272-3510
Email kourai@mx7.ttcn.ne.jp